

# 町を育てる子どもたちを



## 奥尻町教育委員会委員長 達雄

新年あけましておめでとう  
ございます。

謹んで新年のご挨拶を申し  
上げます。

皆様には、日頃より本町の  
教育振興に多大なるご支援・  
ご協力を賜りまして誠にあり  
がとうございます。

さて、昨年は3月に東日本  
大震災が発生し、自然の猛威  
に全世界が驚愕することにな  
りました。ご存じの通り、奥  
尻島は1993年の南西沖地  
震により甚大な被害を受け、  
社会生活や学校教育の大混乱  
から立ち直り、見事に復興し  
た経験があります。

そのようなことから、震災  
以降は全国各地からの視察が  
相次ぎ、奥尻町の復興の経緯  
を勉強していききました。

奥尻の被災から間もなく20  
年となりますが、この間、教  
育現場にも社会変革に伴い、  
いくつもの波が押し寄せてい

ます。

そうしたなかで、奥尻町の  
教育目標である「ふるさとに  
学び、町を育てる児童・生徒  
の育成」の実現に向け、鋭意  
取り組みを進めると共に、子  
どもたちの将来を見据えた良  
好な教育環境の確保と学習環  
境の充実に向け、全力で取り  
組んでまいりました。各校は、  
校長以下教員の不断の努力に  
より小規模ながらもそれぞれ  
特色ある校風を育んでおり、  
参画してくださる地域の皆様  
には深く感謝、お礼申し上げ  
る次第でございます。

また、近年の新学習指導要  
領にて常々謳われてきた「生  
きる力」の養成は、今日のよ  
うな困難をとまなう社会生活  
の中でこそ発揮される生命力、  
生存力となることだと確信し  
ています。

奥尻町の防災教育によって  
浸透している、突発地震と津

波への対応も、今日を「生き  
る力」となるものの一つであ  
ります。

人口流失と少子高齢化の進  
む当町にとって、次代を担う  
児童・生徒はまさに島の宝で  
あり、奥尻を創り継続してい  
く原動力です。

その子どもたちに知識と教  
養を与え、自立と自律を促し、  
将来の指針を示すことが、私  
たち教育関係者の使命である  
と考えます。

日々の教育こそが奥尻新時  
代の基礎を築くことにつなが  
るものと確信しています。

島の宝であります児童・生  
徒を、地域の皆様で守り支え  
てくださるようお願い申し上  
げます。

喫緊の課題として、奥尻町  
立小・中学校の適正配置の問  
題があります。

当委員会では、適正配置検  
討協議会を開催し、数度の地

域説明会にて皆さまのご意見  
を頂戴したうえで、3月下旬  
には「奥尻町立小・中学校適  
正配置計画」を決定したいと  
考えておりますのでよろしく  
お願い申し上げます。

また、生涯学習の充実と、  
文化・スポーツ行事の発展・  
拡充についても、精一杯の努  
力をさせていたいただきますので、  
皆様のご参加をお待ち申し上  
げます。

最後に、皆様のご多幸と更  
なる郷土発展を祈念いたしま  
して、新年のご挨拶といたし  
ます。

平成二十四年 元旦



### 奥尻町教育委員会

教育委員	瀬戸 史朗
"	上野 千代子
"	成田 孝司
教育長	石島 博俊
事務局長	松川 博俊
他職員	同